

目次

1. News
2. 活動成果と計画
3. 目標達成進捗
4. 活動紹介
5. センター・メモ

News

インターンシップ成果報告会を開催

長期インターンシップ開始から 3 か月間が経ちました。PD の皆さんは、ここで得られた成果を、企業と大学の関係者を前に発表しました。質疑応答も活発に行われました。成果報告会は、今後の彼らの飛躍を期待させる内容でした。



活動成果

- **センター会議 (7/23、8/22、9/26)**
平成 27 年度のポストドクター公募要項、企業懇談会参加計画、博士キャリア開発講演会の開催計画などが審議されました。特に本事業の効果に対する認知向上を促す企画が話し合われました。
- **企業懇談会 (8/28)**
より多くの企業様に活動の趣旨や内容をご理解いただけるように、ブースを設けて企業の皆様への説明と懇談をさせていただきました。
- **平成 27 年度 PD 選抜面接 (9/24)**
企業委員 2 名を含む選抜委員会は、PD 応募者を面接審査しました。医学系・理工学系の皆さんを、次年度の養成者候補として選抜し、これを採用案として運営委員会に上程しました。
- **運営委員会 (9/26)**
平成 27 年度ポストドクター・キャリア開発事業養成者の採用案が審議され、選抜委員会からの提案通り 8 名の採用を決定しました。

活動計画

- ◆ **センター会議 (10/24、11/28、12/24)**
海外インターンシップや、平成 27 年度の講義計画、カリキュラム内容、海外研修企画などを審議する予定です。
- ◆ **博士キャリア開発講演会 (11/4)**
文部科学省の委員も務め、本事業に精通するとともに、日本化学会にて博士人材の産業活用の取りまとめをされている、東レ株式会社の長瀬公一氏に講演頂きます。
- ◆ **就業力セミナー (11 月中旬～年末)**
就活検討に入る学部生 3 年生を中心に、博士課程進学をエンカレッジすることを目的に、産業界で活躍するために学生時代に養っておくべきことなどを中心に、8 回シリーズで企業の学位取得者を中心に講演して頂く予定です。
- ◆ **平成 27 年度 PD2 次募集 (12/1~1/14)**
ポストドクが参加するプロジェクトの終了や、大学院博士課程後期の皆さんの博士論文のめどがつく時期を考慮し、国からの補助事業最終年度となる平成 27 年度の、本事業参加 PD の追加公募を予定しています。

目標達成進捗

目標と実績（平成 26 年 10 月 1 日現在）

区分		1 年目 (H23)	2 年目 (H24)	3 年目 (H25)	4 年目 (H26)	5 年目 (H27)
採用者	目標	6	6	6	6	6
	実績	3	7	6	6	
インターン シップ	目標	6	6	6	6	6
	実績	3	6	7	6	
就職者 (内定含む)	目標	3	4	5	6	6
	実績	3	6	6	2	
賛同企業 (累積数)	目標	18	35	50	65	80
	実績	36	65	91	93	



活動紹介

インターンシップを通じて実業務を知る！

本年度の養成者全員が、企業における 3 ヶ月の長期のインターンシップ体験をしました。それぞれの企業内で大学の関係者も参加させて頂き、成果発表会を行いました。専門分野が必ずしも一致している人ばかりではありませんが、果敢に挑戦し一定の成果を出したものと、企業の方からも高い評価を頂きました。インターンシップ期間中、持てる力を十分に発揮できた人、発揮しきれなかった人など様々ですが、皆一様に明るくたくましくなりました。本人の努力はもちろんですが、ご指導くださった企業関係者のご努力の賜物でしょう。PD の皆さんの今後の産業界での活躍に期待します。



センター・Memo

学生を見つめる目

群馬大学桐生キャンパスの池の北側の林の中に、大竹多気先生と西田博太郎先生の胸像がある。ともに民間出身でありながら染色学の権威であり政治的手腕もあった人で、群馬大学理工学部の前身である桐生高等染織学校の初代並びに 2 代目の校長を務めた。実学を重んじる校風は当時より今に脈々と受け継がれている。先生らは、毎日学生たちの声を聞き、顔色をうかがい、成長に満足しながら、今でも学生たちを静かに見守っている。



4 号館の前に立つ、大竹先生（左）と西田先生の胸像